

感染状況・医療提供体制の分析(6月23日公表)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計		前回の数値 (6月12日公表) 6月2日～6月8日	現在の数値 (6月19日公表) 6月9日～6月15日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり 患者報告数 (注:報告者数は、県内50定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	42人	37人	➡	感染状況 コメント	レベル1. 感染者数は一定程度にとどまっている 定点当たり新型コロナウイルス感染症(COVID-19)報告数は0.74人とやや減少。全国的に感染者数は落ち着いている。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要。ハイリスクな方へはうつさないよう配慮を。 COVID-19による入院患者はやや増。少ないが、重症化する患者は継続的に発生。ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要。
		定点当たり数	0.84人	0.74人	➡		
		報告数に占める60歳以上の割合	28.6%	24.3%	➡		
	② 保健所別 定点当たり 患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	0.39人	0.72人	➡		
		倉敷市保健所	1.00人	1.00人	➡		
		備前保健所	1.00人	0.25人	➡		
		備中保健所	0.80人	0.60人	➡		
		備北保健所	3.00人	1.50人	➡		
		真庭保健所	0.50人	0.50人	➡		
		美作保健所	0.40人	0.20人	➡		
入院状況	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)		0人	2人	➡		百日咳が流行しており注意が必要。基本的な感染対策はCOVID-19と同じ。伝染性紅斑や感染性胃腸炎も多い。
	④ 人工呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)		0人	0人	➡		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。